




おしゃりん

7月^{25日}発行

リニキュール特別号

◎ 特集

全国総会おきなわ大会

1~2p

就労移行支援事業開始！

裏表紙

アビリンピック

「開催！」

3p

行きやすくなった「こどもの国」

3~4p

「色々あると思うけど・・・」

友利克也さん 4p

気になる！「沖縄の脊損医療」

5p

バリアフリースポット「丸亀製麺」

6p

朗報！「日常生活用具給付について改正」

6p



晴れてくれました！全国総会おきなわ大会

6月9日(金)～11日(日)にかけて「公益社団法人全国脊髄損傷者連合会第16回定時総会おきなわ大会」を会議場を那覇市牧志駅前ほしぞら公民館、懇親会をホテルロイヤルオリオンで開催しました。

梅雨時でしたので、晴れてくれるかが一番の気がかりでしたが、なんと3日間は晴れてくれました！

全国各地から空路での沖縄入りが114名でうち車いすユーザーが79名！でした。雨は車いすユーザーにとって移動する際には

大きな問題でしたので、空港からゆいレールで移動できて、駅から直結し濡れずに会場・ホテルに入ることができるようほしぞら公民館を設定していたことで、参加者の多くはご自身で移動していただくことができました。県民、関係者に車いすユーザーのバリアフリー観光や移動の問題を知っていただく貴重な機会となったと思います。

空港関係者の皆様ありがとうございました。例年の総会日程と違って、総会議事以外のプログラムで、公開講演を「交通事故対策セ



総会前、受付準備




公開講演の様子



1日目 公開講演 I 坂井大高氏



親睦会「ハイ！まわすよ～」



Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝1-10-28
TEL098-864-1100

安らぎ・癒し・元気を提供します。

診療スタッフ

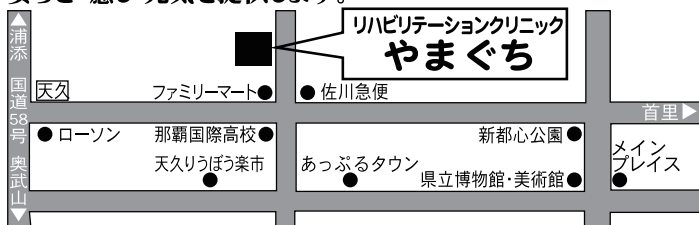
院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医

リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00～ 6:00	○	○	○	○	○	○

- ▶身体機能訓練
- ▶身体能力訓練
- ▶言語訓練
- ▶摂食嚥下訓練
- ▶認知訓練



リハビリテーションクリニック
やまぐち

近隣施設: ローソン、ファミリーマート、天久りうぼう薬市、那覇国際高校、新都心公園、あつぶるタウン、県立博物館・美術館、メインプレイス

ミナー」、「障がい者権利条約と差別解消法」、「障害保健福祉の動向」3つを企画。講師に弁護士、厚労省と内閣府の担当官と豪華な講演で全て満員でした。

総会議事審議は新任の大濱眞代表理事就任後初の総会でした。実行委員長でもある仲根が議長を担い、次年度開催支部の石川県の田中支部長が副議長で進行し、代議員皆様のご協力で滞りなく承認され、熱い研究協議となりました。

懇親会では、余興プログラムで障がい者 I T サポートおきなわスタッフによる琉球民謡にはじまり、首下完全マヒメンバー 3 名の「C 4 トリオ」のハーモニカ重奏。

トリにケントミファミリーと障がいをもったメンバーにこだわった内容で喜んでいただき、無事に大会日程を終わることができました。バタバタ感もありましたが、役員はじめ、障がい者 I T サポートおきなわの全スタッフの支えで、無事事故もなく終えることができました。

また、ボランティアで駆けつけていただいた沖縄リハビリテーション福祉学院の皆さん沖縄国際大学の皆さん感謝いたします。

ありがとうございました。

来年は石川県の金沢市です。また、お会いしましょう!



2 日目 公開講演Ⅱ 内山 博之 氏



2 日目 公開講演Ⅲ 谷口 雄介 氏



総会恒例の「記念集合写真」

交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25T&C 新都心ヒルズ804

弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】☎(098) 963-6268

※ ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。

移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。

相談例: 後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用 など

アビリンピック開催!

「障がい者 IT サポートおきなわ」から 3 名がエントリー、うち 2 名が金賞を受賞しました。

7 月 22 日(土)、うるま市にある沖縄職業能力開発大学校(沖縄ポリテクカレッジ)で第 17 回沖縄県障害者技能競技大会(地方アビリンピック)が開催されました。「障がい者 IT サポートおきなわ」からは 3 名がデータベース部門とホームページ部門の 2 種目に出場し、ホームページ部門で山川朝教さんが、データベース部門で砂川昭人さんがそれぞれ金賞を受賞しました!

山川さんは去年に引き続きの受賞、砂川さんは去年、表計算部門での銀賞を経て今回の受賞となりました。両人は 11 月 17 日(金)から 19 日(日)に栃木県で開催される第 37 回全国アビリンピックに沖縄県代表として派遣されます。山川さんは去年の山形県での全国大会で努力賞(4 位)に入賞の実績があり、今年は 3 位以上の入賞を、砂川さんも同様に入賞を目指します。

アビリンピックは、若年健常者が職業技能を競う技能五輪の障がい者版の大会で、正式名称は『全国障害者技能競技大会』といいます。

アビリンピックは 15 歳以上の障害のある方の職業能力の向上と障がい者に対する理解、障がい者雇用の促進を図ることを目的に、昭和 47 年から開催されており、4 年に一度開催される国際アビリンピックへの派遣選手選考も兼ねた大会となっています。

種目は家具、木工などの建築・工芸系の種目、電子機器組立などの電子技術・機械系種目、

データベースやホームページなどの情報技術系の種目、ビルクリーニングやフラワーアレンジメントなどのサービス・ファッション系の種目など多岐にわたり、競技ではそれぞれ専門的知識、実践力が評価されます。

平成 30 年にはここ沖縄で全国大会が開催され、22 種目の競技が行われる予定です。沖縄大会を盛り上げるためにも、興味のある方は来年出場してみたいはかがでしょうか?



いざ! 全国大会へ!!

行きやすくなった「こどもの国」

バリアフリーアドバイザー活動レポート

沖縄市にある「こどもの国」。以前は急な坂道が多く車いすユーザーや歩行障害の方々にとっては行きづらい施設でしたが、去った 7 月 22 日に沖縄県のバリアフリーアドバイザー活動で視察したところ、なんと、施設バリアフリー化が進められていて、急な坂道はなく、緩やかな坂道に変わっていました。

入口から下って行って見て回り、帰りは一挙にエレベーターで戻ることができました。

動物たちも身近に感じることができ、子ども電車では、車いす対応スペースがあるなど楽しむことができました。



子供電車、乗り降りも安全スムーズです。

これから色々あると思うけど、頑張ります。

障がい者 IT サポートおきなわ 就労移行支援：友利 克也さん



まず初めに私の PR をしたいと思います。名前は友利克也、今年 47 歳のオッサンです。趣味は酒を飲みカラオケを歌うことです(へたくそだけど)。でも宅飲みはやりません、外に出て色々な人としりあいたいからです。

こんな自分が頸椎の 6 番を損傷して 3 年と 4 ヶ月になります。愛知県に住んでる時に車にひかれました。自分では今でも思い出せないけど後から聞いた話では、土曜日で仕事が休みということでパチンコして駅に向かってる途中に大雨が降っていて道路を渡っている自分が対向車のライトで見えなかったらしいです。

安城厚生病院に運ばれ 2 ヶ月入院をして、沖縄の大浜第 2 病院に 1 年 4 ヶ月入院しました。そして、一昨年 10 月に大分県にある国立別府重度障がい者センターに 1 年 7 ヶ月のリハビリを無事に終了して沖縄に帰って来ました。

安城厚生病院での入院中の事は全く覚えてなくて、ただ覚えているのはナースから一生歩けないと言われたことぐらいです。最初に聞いたときは「この人バカじゃないかって」思いましたが歩けるって嘘言われるよりは今思えば良かった気がします。

沖縄の病院に 1 年半入院してる時は車椅子に乗るだけで血圧が下がったりばなしで、これから一生ベッド上での生活と思ったらやるせない気持ちでいっぱいでした。けがをする前

までやりたいようにやってきて今更親の面倒になるって思ったらいつその時、死ねばよかったと思うまいにちでした。

友人、従兄弟、叔父さん、叔母さん、親とか見舞いに来てくれたりして昼間とかは元気にふるまっていたけど夜一人になると涙が止まりませんでした。でも今更後悔しても何も変わらないと自分に言い聞かせて、なるべく笑顔で生きていこうときめました。

大分県にある別府重度障がい者センターに行きリハビリもつらかったけどできないと思っていた事ができた時の嬉しさは自分でもやればできる！って確信に変わってきました。

大好きなお酒も最初は利用者と一緒に飲みに出かけていたけど後々は 1 人でも飲みに行くぐらい自信が付きました。

別府に行って本当に良かったです。

今はまだ帰って来て、これから自分がどういった方向に行くかわからないけどお世話になっております IT サポート沖縄の先輩方からのアドバイスをもらって頑張っって前進します。

沖縄フェニックスのメンバーもよろしくお願ひします。

安城厚生病院、大浜第 2 病院、別府重度障がい者センター、本当にありがとうございました。これから大変なことが色々あると思うけど頑張ります。



今話題のホワイトライオンの専用の見学コーナーを新たに整備する予定で、車いすユーザーもベビーカー等も全てのお客さんが見て楽しんでみられるようユニバーサルデザイン化を積極的に進めるとのことです。皆さん、行ってみてください！



気になる！ 沖縄の脊損医療

数年前までであれば、脊損患者の発生などがあれば、脊損会に情報が伝わり「顔」が見える関係ができていたと思いますが、現在の「個人情報保護」社会の流れから、病院やご本人からの問い合わせ等がないと、つながることが難しく「顔」が見えない、わからない脊損者が増えてきました。

また、リハビリテーションについては「回復期リハビリテーション病院」が救急病院後の受け皿として、沖縄県内は17か所がありますが、ピアサポート活動を通して感じる“気になる”ことが出てきています。これまで「脊損」を受け入れしていたリハビリテーション病院は大よそ特定されていましたが、最近では聞きなれない病院から「脊損者入院しているのでピアサポートを依頼したい」と連絡してくることが多くなってきました。

ピアサポート介入して、病院に行ってみると、脊損特に頸損のリハビリテーションプログラムや排せつ支援プログラム力が備わっていない、わかっていない病院に遭遇します。驚きです！脊損患者の受け入れ態勢が分散化しているにもかかわらず、脊損リハビリテーション

対応力が備わっていない現場のDr、PT、OTといった存在があると予測しています。

脊損患者のリハビリテーション目標（ゴール）設定しないまま、曖昧にして期限が来たら退院の促しているのが現状です。

今年度は、この現状を打破する動きをします。7月20日には全脊連の大濱代表理事と木村義男参議院議員に来沖いただき、仲根同行で、沖縄県の脊損リハ受け皿ナンバーワンの沖縄リハビリテーションセンター病院を訪問し、宮里理事長、又吉副院長とで「沖縄県における脊損医療体制拠点化」を意見交換させていただき有意義な場を持つことができました。

会員の皆さんから、通院している病院の状況などを情報提供していただくとありがたいです。暑い日が続いていますが体調管理を怠らないよう気を付けて夏場を乗り越えましょう。

■ 沖縄県の回復期リハビリテーション病院一覧

病院名	病棟	病床
大浜第一病院	1	41
大道中央病院	2	115
嶺井第一病院	1	50
オリブ山病院	1	34
北中城若松病院	1	36
沖縄リハビリテーションセンター病院	4	199
かりゆし病院	1	44
とよみ生協病院	1	48
勝山病院	2	80
南部病院	1	40
かなな病院	1	24
宜野湾記念病院	2	69
沖縄メディカル病院	1	40
宮里病院	1	44
南部徳洲会病院	1	41
大浜第二病院	1	60
沖縄セントラル病院	1	57



木村義男参議院議員と大濱代表理事、沖縄リハビリテーションセンター病院 宮里理事長、又吉副院長

いつも会費をお支払いいただき、まことにありがとうございます。

お支払いがまだの方は事務局にて直接、もしくはお振込をお願いします。

正会員
年間 6,000円



楽天銀行 第二営業支店(普通) 7104311
トクヒ) オキナワケンセキズイソシヨウシャキョウカイ

賛助会員(個人)
一口 3,000円



沖縄銀行 石嶺支店 (普通) 1520193
特非) 沖縄県脊髄損傷者協会 理事長 仲根 建作

賛助会員(団体)
一口 5,000円



琉球銀行 石嶺支店 (普通) 445603
特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会 理事 仲根建作

バリアフリー
スポット

讃岐釜揚げうどん
丸亀製麺

【宜野湾店】 沖縄県宜野湾市字大謝名 235-2
 開店時間 [平日] 11:00~23:00 [土日祝] 10:00~23:00

宜野湾市大謝名のマック向かいにある「丸亀製麺宜野湾店」をご紹介します。

店内は車いすでも食べやすいテーブル席がいくつかあり、通路の広さも問題なし。トイレは入口の幅が少し狭いが、ほとんどの車いす

は通れる広さでほぼ問題なし。トイレの中も車いすが回転ができる十分な広さがあり、利用しやすいです。丸亀製麺の店舗はほぼ全店同じような作りらしいので、安心してご利用下さい。



広々とした店内は車いすでも利用可



店内入り口



多目的トイレ完備

朗報!! パソコン支援機器助成が
一生 1 回から 5 年に 1 回へ

重度障がい者が情報収集や情報伝達、意思疎通等を支援する用途としてパソコンの周辺機器やそのソフトウェアなどを購入する場合に、市町村が上限を 10 万円として購入費用の最大 9 割を助成する「日常生活用具給付等事業の情報・意思疎通支援用具」という助成事業があります。

この助成はこれまで一生に一度しか申請できませんでしたが、今年度から那覇市は前回

より 5 年経過を条件に再給付できるように改正されました。

那覇市の障害福祉課に問い合わせたところ、この制度改正の流れは那覇市以外の市町村でも同様の動きが見られるとのことでした。ただし、改正するかどうかは市町村の財源力次第になるため、場合によっては改正がまだの市町村もありますので、利用前に市町村に問い合わせしてみてください。

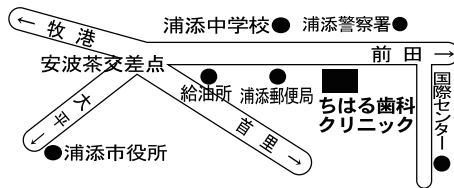
ちはる歯科クリニック
 CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間 3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者: 在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
 病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

就労移行支援事業開始！

障がい者ITサポートおきなわでは、4月より就労移行支援事業が始まり、現在は二名の利用者がいます。

一人目は脳性マヒのTさん。彼は週4日、途中昼食を挟む10時から15時までの4時間利用で、うち3日間はSkype（テレビ電話）と遠隔操作ソフトを使った在宅訓練を行っています。Tさんは障がいのために手を使ったパソコン操作が難しいので、USB接続のマウスパッドを足下に置き、左足でマウスパッドを操作してマウス操作を行っています。キーボードの操作も難しいので、画面に表示されるスクリーンキーボードを利用し、マウス操作で入力します。スクリーンキーボードを利用する前は、棒を口でくわえた状態で体全体を使ってかなりの労力をかけていましたが、現在では体への負担をかなり減らすことに成功しました。

もう一人は四肢マヒのKさん。トラックボールとスティックを使ってマウスやキーボードを操作し、現在はExcelの資格取得を目指して訓練に励んでいます。Kさんは障がい者としての生活を始めたばかりなので、所長や

生活支援員から福祉制度の活用や生活の工夫の仕方などを教わる機会もあります。

さて、私たち事業所では、「ITを利用して何をしたいのか？」「何になりたいのか？」をご本人から聞き取り、それを実現できるようにサポートしていきます。また訓練をするにあたり、ご本人に最適な環境を用意するよう努めています。

就労移行事業は始まったばかりで、定員に達しだい締め切ります。利用を検討中の方、就労移行がどんなところなのか、知りたいと思いつたら見学・相談など受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。



Excelの資格取得を目指す、Kさん



左足でパッドを操作をする、Tさん

編集後記

今月号より新たに『しゅりん』がリニューアルしました。編集スタッフを増員し、さらにパワーアップ！より一層読みやすい紙面、充実した情報をご愛読頂いております皆様にお届けいたします。これからも皆様からより愛される広報誌を目指して参ります。今後とも『しゅりん』をよろしくお願ひします。

からだの痛み・悩みを自宅で解消!

代表 林 秀一

〒900-0004 那覇市銘苅2-11-19 グローヴィーサイト新都心2F

TEL:098-867-0006 FAX:098-867-0008



病院と同じで
健康保険証が
使えます!

琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。



0120-680-006

mail info@ryukyu-chiryoin.com HP http://www.ryukyu-chiryoin.com/